

# 一 農民戦線統一に関する件

本部提案

理由

農民戦線の統一は永い間の重要問題であるが今日程その必要が痛感され全組合員大衆に戦線統一要求の波高まりしことも又稀である。此際吾々は過去の統一に於ける誤謬を認識し名目のみの合同、一に幹部のためにせんとする合同等の誤つた過失を再び犯してはならない。統一は吾々の戦線の拡大であり強化でなければならぬ。資本家地主の攻撃に對する吾々の陣營の半半化であり、小作米をマケロ、土地を農民への目的貫徹のためであり口常利益のヨウゴと伸長のためである。然し下ら右翼組合員大衆の中より抬頭せる本合同統一運動も未だ右翼外ラ幹をゲトハンて参加する迄には至つてゐない。今日右翼組合は多少意識が低いとか、おくれてゐるとか何問題でなく全く支配階級の御用団体であり、資本家地主の探取に勞働者農民を永久につなぐことしつゝある處に意識がある。我々は支配階級の反動支配下にある農民を吾々の陣營に獲得し、然して斗争力の強化のため統一するものである。此の目的は單に合同統一結成のみでなしとせられるものでなく救済効果なる長い間の反外ラ斗争によつてのみ始めて反動支配下の農民を吾々の手に奪ひ取る事が出来るのである。統一の眞目的は小作農民の小作料減免に土地引上反對に口常利益のヨウゴのための経済的斗争に於て下からの共同斗争を通じて斗争の過程に於て意識の向上を計り外ラ幹共の影響から切はなし階級統一を計つてこそなしとせられるものである。右翼組合は支配階級と結びその

戦線統一  
は如何に  
進めようか  
と云ふ事

農組員にして本部買は腰が弱くて困るとか、大事は場合は本部員には関係させてはいけないとか云ふ不平を聞く。又争議激化の場合組合幹部が若しこの条件で解決しない概ならえ判にならうと本部は知らない等と組合員を強制的に屈せしめてゐるのを聞く。本年は数十年米の大旱魃と風害等による被害甚だしく小作料の減免斗争は各地に起ることは必然的のモノであり、吾組合員は此の機会に幾本部派福福縣聯合會、日本農民組合九州同盟會、その他単組組合等に共同斗争を提唱し、その斗争の過程に於て部落から材から統一の氣運と結成を計り外ラ幹に左右されず、眞に小作農民の統一合同を計らねばならぬ。かくてこそ吾々の要求に輝かしい勝利が約束され小作料の減免、土地を農民への要求が貫徹されるであらう。

## 實行方法

卑劣対策、小作料減免、肥料代の國庫補助並に地主負担、飯米一ヶ年分差押禁止法獲得等に併  
 対策協議會或は懇談會、署名運動等を提起し共同斗争をなし、組合員は下から支部支部で近く  
 のものと統一を計ること  
 全面的問題については本部で時期を見て適宜所置を講ずること。

李松蒼 李松蒼 李松蒼